

3Dオーディオ制作

イマーシブオーディオとオブジェクトベースに対応

フェアライトの3Dオーディオワークスペース (3DAW) プラットフォームは、あらゆる用途に対応できる多様な3Dオーディオ制作環境を提供します。

オープンプラットフォームでのコンフィグレーション

お使いのデジタルワークステーションにフェアライトの3DAWを導入すれば、これまでとまったく同じワークフローで、イマーシブサウンドの制作ができるようになります。フェアライトの3DAWは、VST® あるいはRTAS® プラグインをサポートしているプラットフォームであれば使用可能です。

このコンフィグレーションでは3DAWのASIO®によりI/Oや同期系を共有できるため、コストをかけずにイマーシブサウンド制作システムを構築することができます。

フェアライト製品でのコンフィグレーション

全てのフェアライト製品でも3DAWを使用することができます。最大1000トラックの録音機能を有する大規模ミキサーや2K/4K映像再生まで対応しています

ポストプロダクションツール

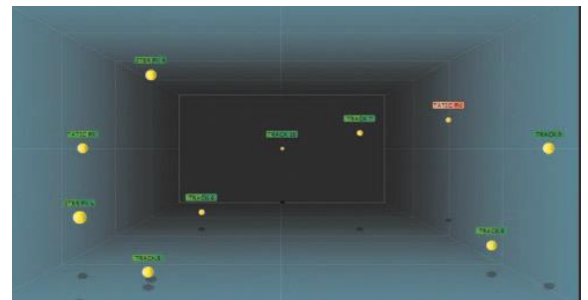
オープンプラットフォームあるいはフェアライト製品のどちらにおいても、フェアライトの3DAWによって以下の3Dオーディオツールを利用することができます。

- ・ 三次元空間に対応した3Dパン
- ・ 最大64個のスピーカ出力に対応したBチェーン処理
- ・ 3D可視化(スペースビュー)機能による音源位置やそのレベルの視覚的確認
- ・ MDA、Auro-3D™、Atmos™など多様な出力フォーマットに対応したマスタリング
- ・ バーチャルリアリティ技術によるイマーシブサウンドの音像制御ができる他に類のないAirPan [1]は、空間で指を動かすだけで、音像のパン、回転、傾き、広がりなどを操作することが可能

[1]特許出願中



空間での音像位置を操作する3Dパン



3Dオーディオ・オブジェクトの可視化



音像位置を自由自在に操作

フェアライト 3DAW の哲学

異なる配給方式は異なる技術を必要としますが、フェアライトのイマーシブサウンド技術は、異なる配給方式に対応できるベストなプラットフォームを提供します。

- ・ オブジェクトベースの Dolby Atmos や DTS MDA などに対応しています。
- ・ チャンネルベースのステレオ、5.1 から Auro-3D や NHK 22.2 マルチチャンネル音響、さらにはユーザ独自のチャンネルフォーマットに対応しています。

ユーザ設定が可能な B チェーンプロセッサにより独自のスタジオモニタ環境に対応できます。

これらの機能により、異なるサラウンドフォーマット、異なるスピーカレイアウトに瞬時切り替えができ、各スピーカのソロ、ミュート、優れたメータリングも可能です。

スクリーニング機能

フェアライトの 3DAW は、スクリーニングやプレゼンにおいて、3D サウンド制作コンテンツのプレビューやデモを簡単に行うための機能を持っています。スイートスポットでクライアントの隣に座りながら、タブレット端末などでこの機能をリモート操作することができます。

3D オーディオプロセッサ

3D オーディオプロセッサによって、多様なスタジオをアップグレードすることができます。このプロセッサはラックマウント可能な 4U サイズの機器で、フェアライトの強力な CC-2 技術を用いています。

仕様：

- ・ 128 入力、72 出力に対応した 3D ミックスエンジン
- ・ 最大 64 入出力のスピーカセットアップまで対応
- ・ 12 アナログ出力によるスピーカへのダイレクト接続が可能



B チェーン処理



タブレット端末によるスクリーニング機能操作

FAIRLIGHT | 3DAW

1 度のイマーシブサウンドミックスで複数の配信フォーマットに対応！

最少のコスト負担で、現有設備による 3D オーディオ制作を実現します。